

0.8秒の高速応答、高再現性(±0.3℃)の 非接触放射温度計 最新モデル

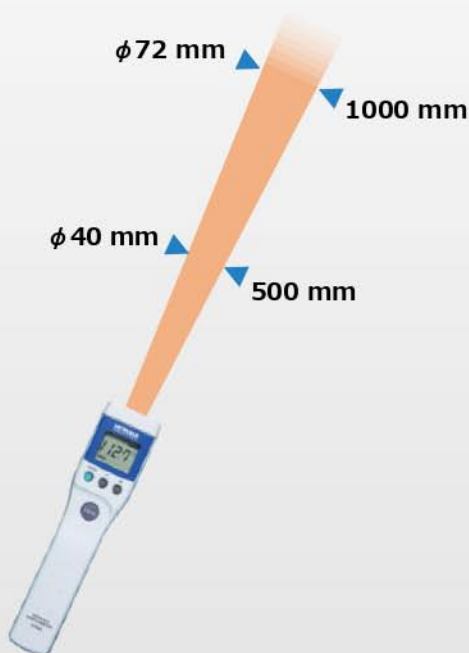
2020年 モデル

IT-545N-C

(レーザーポインタ無し)



■ 測定視野 (視野径、測定距離)



■ 仕様

測定波長	8 ~ 14 μm
測定温度範囲	-50 ~ 500℃
温度表示範囲	-55 ~ 505℃
表示分解能	1℃ [-50 ~ -0℃] 0.1℃ [0.0 ~ 199.9℃] 1℃ [200 ~ 500℃]
精度定格*	± (読み取り値の絶対値の5%+1.5)℃ [-50 ~ -0℃] ±1.0℃ [0.0 ~ 199.9℃] ± (読み取り値の0.5%+0.5)℃ [200 ~ 500℃]
再現性 (繰返し性)	±1℃ [-50 ~ -0℃] ±0.3℃ [0.0 ~ 199.9℃] ±1℃ [200 ~ 500℃]
応答時間	0.8 sec (95%応答)
表示更新時間	0.4 sec
測定視野	φ 40 mm / 500 mm
放射率設定	0.10 ~ 1.00 (0.01ステップ)
使用温湿度範囲	温度0 ~ 50℃ 相対湿度35 ~ 85% (結露しないこと)
電源	単4形乾電池×4本
外形寸法/質量	40 (W) × 170 (L) × 36 (H) mm / 約140 g (電池含む)

※周囲温度18 ~ 28℃、相対湿度35 ~ 75%、放射率 (ε) = 1.00

本機器は、薬機法で規定される「体温計」ではございません

<人の体表面温度を測定する際のご注意>

放射温度計は手軽に非接触で、色々なモノの温度を測定することができますが、体温計(薬機法で規定)ではありません。最近の新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大の報道により、発熱者のスクリーニング目的で放射温度計に対するお問い合わせが増加しておりますが、以下の内容をご理解いただきますよう、お願いいたします。

- **体温計について**

薬機法では、「体温計」が医療機器として指定されており、弊社の放射温度計を含めて一般的な放射温度計やサーマルイメージャは、体温計として使用できません。

- **体表面温度測定について**

人の体表面は、外気に触れているため外気温影響を強く受けています。したがって、一般的に体温よりも外気温が低いため、体表面を放射温度計で測定すると体温より低い温度が表示されます。また、例えばヒーターなどの近くにいる場合は、逆に体温よりも高い温度が表示されることがあり、運動を行って発汗すると、気化熱が奪われて体温よりも低めに温度が表示される場合があります。

株式会社 堀場製作所

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 075-313-8121
<http://www.horiba.co.jp>

●製品の技術的なご相談をお受けします。カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル **0120-37-6045**

受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00

【祝祭日を除く月曜日~金曜日】

※携帯電話・PHSからでもご利用可能です。

※一部のIP電話からご利用できない場合がございます。

2020年3月時点